

経営の羅針盤 経営計画の作り方 (第9回)

作成編5 「会社の現状4」

ITO中小企業経営研究所 代表
 中小企業診断士 伊藤 文仁

今回は「内部環境」の「システム・情報」について述べます(項目番号は前回の続きとなります)。

(4)内部環境・システム、情報

①業務の流れ

会社を運営にするにあたっての「仕事の仕組み」を記載します。企業内の業務遂行は各社それぞれ実施方法(やり方)に違いがあります。業務の流れに沿って、自社がどのような対応を行っているか、どのような特色があるかを記載します。

項目	責任者	対応・特色
営業		
見積・契約		
設計		
資材発注・納入		
製造・加工		
外注調整		
完成品検査		
納品		
請求・入金		
アフターフォロー		
クレーム対応		

※製造業の例 業種によって項目が変わります

②部門別業務

組織図をベースに、部門ごとの業務内容と特色について記載します。

項目	責任者	業務・特色
経営陣		
総務部		
設計・開発部		
営業部		
製造部		
品質管理部		

※製造業の例 業種によって項目が変わります

③社内業務連携

社内の連携体制について記載します。業務が分担され

ると、業務間(部門間)の連携が図られなければ会社はスムーズに回っていきません。この項目は社内でもどのように連携を図っているか、情報の共有はどのように行っているか等について記載します。図を用いるのも良いでしょう。

④社内情報の蓄積・活用法

不具合・不良品の発生状況(原因)と対応策・対処法や業務改善提案などの社内情報をどのように蓄積して、どのように活用しているかを記載します。また、その情報の管理と共有方法についても触れます。

⑤社外情報の蓄積・活用法

企業経営には情報の素早いキャッチと迅速な対応が求められます。情報化社会を迎え、社外からもたらされる情報は膨大な量となっており、その内容も様々です。この項目では社外からもたらされる情報を自社でどのように蓄積し、活用しているかを記載します。

項目	蓄積内容	活用方法
市場・業界動向		
商品・製品情報		
競合情報		
供給業者情報		
顧客情報		
取引先情報		
その他情報		

⑥情報セキュリティ対策

情報漏えい事件が頻発し、情報管理に厳しい目が向けられている現状では、企業には内部統制とあわせて、情報漏えい対策やセキュリティ対策が求められています。この項目では自社の情報セキュリティの状況について記載します(以下、主な項目)。

- ◆情報セキュリティに対する組織的な取組状況
- ◆物理的(環境的)セキュリティ上の施策
- ◆通信ネットワーク及び情報システムの運用管理
- ◆情報システムの開発、保守におけるセキュリティ対策及び情報や情報システムへのアクセス制御の状況
- ◆情報セキュリティ上の事故対応状況